

南地域まちづくり

かわら版

南地域の一年をふいかえって

◎南地域自治組織座談会（6月）

“みんなが暮らしやすい南地域”の実現を目指し、地域の魅力や課題に感じていることなどについて意見交換をしました。組織の運営目標『部会活動の活発化』を目指し、3部会（防犯・交通安全、福祉・防災、広報）ごとに、昨年度の事業の反省をもとに、令和元年度の活動目標を立て、取り組む事業を整理しました。



座談会の様子



AED 体験

◎地域交流イベント（10月）

「学ぼうさい!!」をテーマに、各種団体に協力いただきながら開催しました。新たな取り組みとして、丹羽消防署協力による AED 操作体験や大口町災害救援ボランティアの協力で応急手当体験などを行いました。

なるべく多くのブースを見ていただくための仕掛けとしてスタンプラリーを企画したところ、家族で楽しみながら参加している姿が多く見られました。

また、夏休みに南小児童より募集した標語の優秀作品表彰式をイベント内で行い、標語を使った啓発用品と共に皆さんの前に披露されました。



標語のぼり旗

◎ふれあいまつり（11月）

防犯・交通安全部会では、啓発に力を入れた「子ども110番の家」の周知のためパネルを掲載しました。クイズの参加者には防犯啓発物品等を配布するなど、啓発活動にも努めました。また、今年度は、ペットボトルで作る「手作り水族館」も行い、多くの子どもたちに参加していただきました。



クイズに挑む参加者

南地域のたからもの vol. 29 ～「山」の多い秋田？～

昔の地名を見てみると、秋田には「山」とつく場所がいくつもあります。「向山」は現在の伝右二丁目地内、「藪山・東藪山」は秋田一丁目地内、「中山」は現在の秋田二丁目地内、「南山」は現在の秋田二～三丁目地内にあった地名です。

では本当に山があったのでしょうか？実は、尾張北部における土地の様子を見てみると、大昔は木曾川をはじめ、その支流などが網の目のように流れていました。このため、川が流れていた場所は徐々に土地が削られ、川が流れていないところの土地は少し高くなっていきました。恐らく、この少し高い土地が「山」という地名を付けられた理由だと考えられます。特に、伝右の南から宗雲にかけての地名、「向山」～「中山」～「南山」は、北東から南西（地図だと右上から左下）へ少し高い土地が続いていたと想定できます。裏を返せば、その両側（東側と西側）は大昔に川が流れていたのかもしれませんが。そして熊野社のある「中山」の付近には、「法徳寺」という地名があります。昭和10年（1935）発行の『大口村誌』には「法徳寺」というお寺があったと書かれています。このように昔の地名を見てみると、少し小高い土地に家が並んで神社やお寺があり、低い場所には小川や田が広がっている…おぼろげながら昔の風景を想像することができます。



昔の地名「法徳寺」と「中山」付近

南地域元気アップカフェ

～出張!! いっぴく茶屋～

1日限りの

いつまでも元気にイキイキと暮らすためのヒケツをお伝えします。

- ・日時 3月7日（土）午前9時30分から
- ・場所 健康文化センター4階 ほほえみホール

ご近所、ご友人と声をかけあって、ぜひご参加ください！

『きけんだよ スマホにお中の そこの君』

（令和元年度南小学校4年生児童優秀作品）

わたしは、自転車にのります。今まで怖い思いをしたことがあります。自転車は車道を走らなければいけません。でも私は怖いと思います。車を運転する人は前をよく見て運転すること。歩行者は車や自転車に気をつける。スマホを見ながら歩かないこと。自転車はスピードを出したり信号無視をしないこと。すべてが当たり前のことだけど守らない人が多いから事故がおきます。一人一人が気をつけて譲り合う気持ちが一番大切だと思っています。



（交通遺児の声より引用）